研究基盤学（山本龍生）

Basic Research Science （Tatsuo Yamamoto ）

キーワード

① 研究倫理学
② 生命倫理学
③ 研究マネジメント
④ 研究者キャリアプランニング

関連する学位授与方針	関連する教育実施方針
①	①
③	③
	④

授業概要

自立した研究者が備えておくべき基本的な事項には、研究倫理および生命倫理に関しての充分な知識、自ら研究課題を設定しそれを解決するための研究手段を構築することができる研究マネージメント能力、研究成果を分かりやすく伝える情報伝達・コミュニケーション能力がある。本科目は、深い学識のもと広い視野で物事を考える力の基礎を涵養することを目的として開講する。さらに、本科目では研究者とのとしてキャリアプランニングに必要な情報提供も行う。

授業科目の学修目標

本科目では、DP1とDP3の身につけるべき能力について、基礎的な事項を教授し、研究者としての基本的な姿勢を身につけることを目的とする。

授業計画

（山本龍生　1コマ）
① 研究者として受ける初めての講義であり、研究者とは何かという根源的なテーマをこれまでの高名な研究者を例に挙げ議論する。
（山本龍生　1コマ）
② 研究者の倫理（研究倫理）について講義する。
（入江浩一郎　1コマ）
③ 研究者の倫理（利益相反・知的財産）について講義する。
（浜田信城　1コマ）
④ 研究者の倫理（動物実験の倫理）について講義する。
（青木一孝　1コマ）
⑤ 研究者の倫理（倫理審査委員会への申請手順等）について講義する。
（猿田樹理　1コマ）
⑥ 国際的な研究活動について講義する。
（板宮朋基　1コマ）
⑦ VR/AR技術の開発動向と最新応用事例について講義する。
（大島昭宏　1コマ）
⑧ 教員の学生対応の基本について講義する。
（山本龍生　1コマ）
⑨ 研究者としてのキャリアプランニングについて講義する。
（長谷川巖　1コマ）
⑩ 研究の進め方（実験計画）について講義する。
（向井義晴　1コマ）
⑪ 研究の進め方（文献検索）について講義する。
（水野潤造　1コマ）
⑫ 研究の進め方（論文作成法）について講義する。
（高橋聡子　1コマ）
⑬ 研究の進め方（論文作成法）について講義する。
（研究評価者　1コマ）
⑭ 研究の進め方について面談し指導する。
（山本龍生　1コマ）
⑮ 1～14回の講義を振り返り、総合学修を行う。

教科書および参考書

特になし

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

毎回の講義を受講し、レポートをその日に作成すること。

大学院生が達成すべき行動目標

① 研究者としてあるべき姿を理解する。
② 研究倫理の基礎を説明できる。
③ 利益相反の原理を説明できる。
③ 知的財産の保護と活用法を説明できる。
④ 実験動物の取り扱い方を説明できる。
⑤ 倫理審査委員会への倫理申請手順について説明できる。
⑥ 海外での研究者の研究活動について説明できる。
⑦ VR/AR技術の最新応用事例について説明できる。
⑧ 学生対応の基本について理解する。
⑩⑪⑫⑬⑭ 研究の進め方について説明できる。
⑮ 振り返り知見をまとめることができる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	実技	その他
40%	30%	30%	0%	0%	0%	0%	0%

評価の要点

小テスト30%(15回×2%)※オンデマンド動画視聴の回は0点
レポート30%(15回×2%)
試験1回40%（第15回に行います。）

理想的な達成レベルの目安

研究倫理をはじめとする重要な基本項目に関する科目であり、90%以上を理想的な達成レベルとする。